

## 公民館の市民センター（コミュニティセンター）化について

### 1. 地域・住民のニーズ

地域コミュニティ活動の拠点として、現在の公民館の管理基準を緩和し、誰もが利用しやすい施設への意向の要望がある。

- 例）・公民館で地域づくりにつながる活動・物販をしたい  
 ・放課後の学習の場として利用したい  
 ・地域でコミュニティビジネスを行いたい など

#### 【目指す施設】

- ・住民にとってより有効に使える施設
- ・地域づくりに役立つ施設
- ・引き続き生涯学習が推進できる施設



施設利用における社会教育法の適用除外が必要

### 2. 社会教育法の適用除外について

公民館

コミュニティセンター

生涯学習  
 （社会教育法に基づく）



法の適用除外

生涯学習  
 ＋  
 地域づくり活動、地域交流など

### 3. 公民館とコミュニティセンターの比較

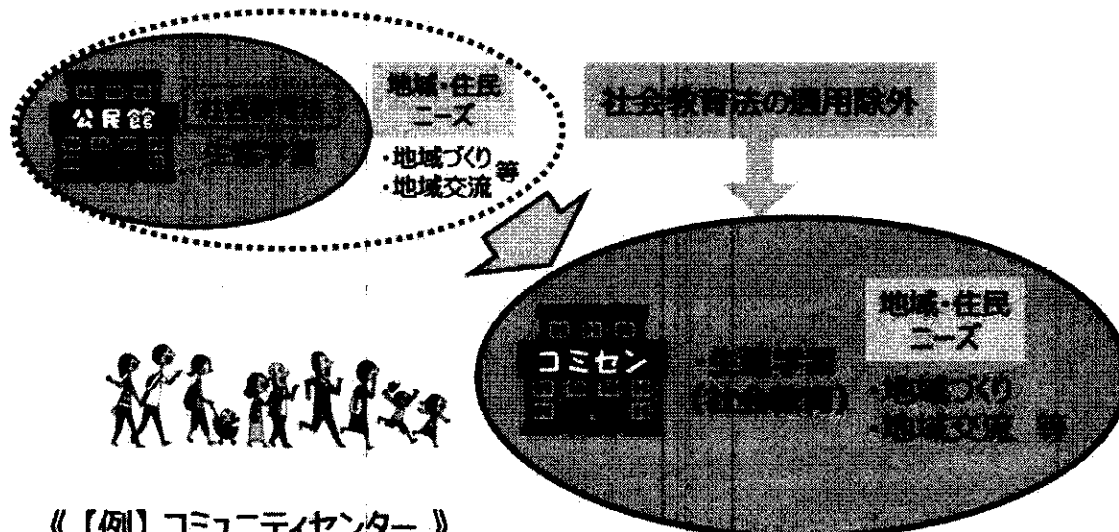
|       | 公民館                                                                                                             | コミュニティセンター                                                                                                                                                                                      |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 設置主体  | 教育委員会                                                                                                           | 市長部局                                                                                                                                                                                            |
| 設置根拠  | 市公民館条例                                                                                                          | 市コミュニティセンター条例                                                                                                                                                                                   |
| 施設の性質 | 社会教育施設                                                                                                          | コミュニティ施設                                                                                                                                                                                        |
| メリット  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育法の適用により、営利を目的としない講座を受講できる。</li> <li>・住民の身近な場所で学習機会が得られる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域づくりに係る特産物の有償提供など多用途利用が可能。</li> <li>・学習事業に加え、住民の自主的な地域づくり活動など、利用の幅が広がる。</li> <li>・住民交流の場の提供など、地域の実情に合った利用が可能。</li> <li>・住民の身近な場所で学習機会が得られる。</li> </ul> |
| デメリット | <ul style="list-style-type: none"> <li>・営利を目的とした活動の禁止（社会教育法第23条）。</li> <li>・資格取得を目的にした講座がない。</li> </ul>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・名称を変更することで、住民に不安感が生じる可能性がある。</li> </ul>                                                                                                                 |

### 4. コミュニティセンター移行で可能となる具体例

- ・地域で採れた野菜などの有償提供（物販）
- ・学習の場として提供
- ・企業による地域貢献に関する内容の研修会や会議等の利用
- ・介護予防・日常生活支援総合事業等に活用  
 （介護予防クラブ活動やコミュニティカフェなど）
- ・地域の発展に繋がる有料イベントの開催

## 5 社会教育法の適用除外のイメージ

【社会教育法の制限】



《【例】コミュニティセンター》

- ・ 公民館と同等に生活学習場を推進することが出来る
- ・ 地域・住民のニーズに合わせ、地域の実情に合った利用が可能となる
- ・ 住民の自主的な地域づくり活動を進めることができる
- ・ 地域の特色を生かす場など、多用途利用が可能となる

## 7 公民館からコミュニティセンター移行で可能となる内容

| 内容                                                | 公民館 | コミュニティセンター                   |
|---------------------------------------------------|-----|------------------------------|
| 地域で採れた野菜などの有償提供(物販)<br>(住自協で企画した特産物等)             | ×   | ○                            |
| 学習の場として提供(要:保護者)<br>※冷房設備のある部屋での学習利用              | ×   | ○                            |
| 企業による地域貢献に関する内容の研修会や<br>会議等の利用(会社、個人営業商店等含む)      | ×   | ○<br>(有料による貸し館)              |
| 介護予防・日常生活支援総合事業 等に活用<br>(例:介護予防クラブ活動やコミュニティカフェなど) | ×   | ○                            |
| 地域の発展に繋がる有料イベントの開催<br>(著名人等の有料講座、講演会の開催)          | ×   | ○<br>(有料による貸し館)<br>※住自協主催は無料 |

※コミュニティセンターへ移行した後も利用ができない内容

- ・ 公の秩序又は善良な風俗を害すると認められる利用
- ・ 施設等を破損し、又は滅失するおそれがあると認められる利用

